

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和4年1月28日  
 独立行政法人福祉医療機構  
 経営サポートセンター長 坪井 七夫  
 経営サポートセンター コンサルティンググループ  
 グループリーダー 菅野 雅之  
 担当 久保田 (電話) 03-3438-0236  
 (FAX) 03-3438-0371

## 2020年度(令和2年度)決算 介護老人保健施設 の経営分析参考指標の概要について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2020年度の介護老人保健施設の経営分析参考指標の概要について、公表いたします。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiqa-tabid-1976/>

### 1. 調査の概要

<b>■調査時点</b>	毎年1回(決算データ)	
<b>■集計施設</b>	介護老人保健施設 : 1,525 施設	
	基本型 : 462 施設	加算型 : 487 施設
	在宅強化型 : 152 施設	超強化型 : 367 施設
	その他型 : 42 施設	療養型 : 15 施設
	※併設通所リハビリテーション及び短期入所療養介護を含む分析	
<b>■調査目的</b>	機構融資先の債権管理の一環	

※経営分析参考指標(2020年度決算分)(有料)の販売については、現在予約申込受付中です。

### 2. 2020年度決算の概要

- 事業収益対事業利益率は、老健全体では4.1%(前年度比1.7ポイント低下)、施設類型別に見ると、基本型4.9%、加算型3.7%、在宅強化型2.9%、超強化型3.9%、その他型3.5%、療養型14.7%となっており、療養型以外の施設類型において低下した。
- 赤字施設(経常利益額が0未満)の割合は、老健全体では28.0%となっており、前年度比6.3ポイント上昇した。施設類型別にみると赤字施設の割合が最も上昇したのは超強化型であり、在宅強化型、加算型、基本型と続いた。一方、その他型、療養型は割合が低下した。
- 基本型、加算型、在宅強化型、超強化型の施設類型に共通して、利用者1人1日当たり事業収益(介護料収益(施設入所+短期入所))は上昇したが、入所利用率、通所利用率、入所定員1人当たり年間事業収益は低下した。
- 全体の在所日数(施設入所)は305.2日(前年度比14.2日増加)となっており、全ての施設類型において長期化した。

以上